

統計数理研究所 産学連携シンポジウム 企画書(案)

2020年8月24日 統計数理研究所

統計数理研究所では、10月26日(月)、産学連携をテーマとする下記のシンポジウムを企画いたしました。貴機関におかれましては、本イベントへのご後援をご検討いただくことができれば幸甚に存じます。なお、下記は2020年8月24日現在の企画案であり、事前のご連絡なく変更する可能性がございますので、予めご了承をお願いします。

記

【タイトル】 「データサイエンスの現在と未来を解剖する！」
～企業向け産学連携シンポジウム～

【趣旨】 ビッグデータやAIの進展等により、データサイエンスには今何が起きている今後どのような課題が待っているか、どのように備えるべきか、現在から未来に向けて、未来から現在に向けて循環して考えます。講師は大学、企業、研究所のデータサイエンスの専門家が務めます。本シンポジウムの対象は、企業の研究者、専門職、管理職ですが、大学や一般の方の参加も歓迎します。本企画により参加者がデータサイエンスを知り、活用するきっかけとなることを願っています。

【日時】 2020年10月26日(月) 14:00-17:00 (ZOOM Webinar 予定)

【参加申込】 事前登録(peatix 予定)、定員 500 名、(講演資料の配付・掲載なし)

【プログラム】

- 14:00-14:05 開会挨拶 椿広計(*1)
- 14:05-14:30 基調講演「(仮)今後の社会とデータサイエンス」樋口知之(*2)
- 14:30-14:55 講演1 「(仮)企業からデータサイエンスへの期待と要望」水野洋(*3)
- 14:55-15:20 講演2 「(仮)統数研が推進するデータサイエンス」椿広計
- 15:20-15:30 休憩
- 15:30-16:55 パネル討論(*4)「データサイエンスの現在と未来を解剖する！」
樋口知之(M)、水野洋(P)、椿広計(P) M:モデレータ、P:パネリスト
- 16:55-17:00 閉会挨拶

(*1) 椿広計 大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構
統計数理研究所長

(*2) 樋口知之 中央大学 AI・データサイエンスセンター所長
理工学部経営システム工学科教授

(*3) 水野洋 パナソニック株式会社 テクノロジー本部
マテリアル応用技術センター デジタル融合総括

(*4) パネル討論トピック案

データサイエンスの現在と未来を中心に、下記のように討論する予定です。

《過去→現在》データサイエンスのルーツ、ビッグデータ・AI 隆盛の要因

《現在→未来》社会で今起こっている変化、未来に向けて起こり得る課題

《未来→現在》今後の社会変化に対して、今、私たちはどう備えればよいか

《未来→現在》大学、企業、研究所の今後のビジョン、今、担うべき役割

《現在→未来》統数研への期待

《現在→未来》データサイエンスについて今、思うこと(建前と本音)

なお、統計数理研究所では 2020 年 10 月 27 日(火)、「データサイエンスが創る日本の未来」をテーマとするオープンハウスを、オンラインにて開催する予定です。本企画はオープンハウスの前日に開催いたします。

以上